

(第六類 第一號)

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

地租ノ免除ニ關スル法律案(安達謙藏君外一名提出)

間接國稅犯則者處分法中改正法律案(安達謙藏君外一名提出)

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出)

第六十四回帝國議會 造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案外二件委員會議錄(記)第十八回

衆議院

會議

昭和八年三月十日(金曜日)午後一時四十分

開議

出席委員左ノ如シ

委員長 金光 唐夫君

理事堀川 美哉君 理事鶴野米太郎君

理事中 亥歲男君 理事野中 徹也君

木暮武太夫君 兼田 季雄君

杉本國太郎君 壽原英太郎君

小谷 節夫君 丹下茂十郎君

森田 福市君 田中喜代松君

大山斐蹉麿君 小川鄉太郎君

中島彌團次君 前田房之助君

勝 正憲君 手代木隆吉君

同月九日委員高見之通君 加藤鎌五郎君及矢野庄太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ田中喜代松君、小谷節夫君及中亥歲男君ヲ議長ニ於選定セリ

同月十日委員横山泰造君及倉元要一君辭任

ニ付其ノ補闕トシテ丹下茂十郎君及杉本國太郎君ヲ議長ニ於選定セリ

同月九日理事矢野庄太郎君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月十日中亥歲男君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 高橋 是清君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏省主稅局長 中島 鐵平君

朝鮮總督府政務總監 今井田清德君

農林省農務局長 長瀬 貞一君

農林省山林局長 木島 駒藏君

拓務省殖產局長 北島謙次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出)

○金光委員長 是ヨリ開會致シマス、御諮詢

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

リ致シマス、理事矢野庄太郎君ガ辭任サレマシタノデ、補闕選舉ノ必要ガアリマスガ、先例ニ依リマシテ委員長ヨリ指名致シマスコトニ御異議ガゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○金光委員長 御異議ガナケレバ指名致シマス、中亥歲男君ニ御願ヒ致シマス

○堀切政府委員 一昨日玉置君ノ質問ニ對シ、私ガ答辯致シマシタ中デ、一つノ發言

ニ應酬致シマシタ中デ、斯様ナコトガ速記ニ出テ居リマス、

〔「是ハ全ク本案ニ關係ノナイ事項デアリマスカラ、是ハ速記錄カラ除イテ戴クコトヲ申出デ、即チ之ヲ取消ス次第デアリマス(拍手)〕

○勝委員 大臣ノ御見エニナル間、時間ガ

ゴザイマスルナラバ、ホンノ事務的ノ問題ニ付テ主稅局ノ方ニ御尋ヲシテ置キタイノ

デスガ、今度ノ改正案ノ從量稅ノ、例ヘテ見

レバ、木材ノ如キハ二圓、二圓五十錢、五

圓五十錢、二圓ト出テ居リマスガ、是ハ從

價幾ラニナルカト云フコト、茲ニ其算出ノ

基礎ヲ簡明ニ御説明ヲ願ヒタイノデアリマ

ス、ソレカラ茹弱ハ五圓五十錢ト出テ居リマスルガ、是ハ輸入品ノ價格ガ幾ラデアルカ、

テ、日本ノ内地產ノ品物ガ幾ラデアルカ、

コトニナルグラウト思ヒマスガ、其計算ノ

基礎ノ大略ヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中島政府委員 手許ニ數字ヲ持チマセヌ

カラ後程取調べマシテ御答申上ゲマス

○金光委員長 大藏省ノ政府委員ニ御相談申上ゲマスガ、關稅定率表ヲ各員ニ御配付ヲ願ヒタイト云フ希望者ガアリマスガ出來マスカ

○中島政府委員 稅表デスカ

○金光委員長 サウデス

○森田委員 斯ウ云フコトヲ一ツ政府ニ御願シタク、此頃參考書類ヲ色々御出シニナッテ居リマス中ニ、一立方「メートル」トカ、

石トカ、何才トカ、尺メトカ色々モノガアリマシテ、中々面倒デス、尺メト云フコトハ朝鮮總督府ノ方ガ能ク御話ニナリマスガ、尺メハ十二尺、十三尺、十四尺ト云フヤウニ長サガ達フノデス、何ボ長サノ尺メデアルカ、十二尺ヲ單位トシタ尺メデアルカ、十三尺デアルカ、十四尺デアルカ分ラナイ、モウ一つハ才當リ計算ノコトヲ御伺致サナケレバナラナイ、一寸角ノ二間モノト云フヤウナコトガ此表ニ現レルヤウニ、

即チ一立方「メートル」ハ何立方尺カラナッテ居ルカ、一立方「メートル」ハ何才カラナッテ居ルカト云フ一番根本ノ参考書ヲ戴キタイ、何才ガ集マッテ一立方「メートル」ニナルカト云フ換算表ヲ出シテ戴カナイト、毎

立方「メートル」幾ラト云フコトヲ言ハレテモ、才ニ當ツテ幾ラニナルト云フコトガ分

ラナケレベ、安イトカ高イト云フ議論ガ出ハ極メテ不適當デアリ、又不均衡デアルモ

來ヌト思ヒマス、政府ノ人達モサウダラウト思ヒマスカラ、ソレ等ノ参考ニナルヤウナモノヲ御出シヲ願ヒマス

○中島政府委員 承知致シマシタ、ソレカ

ラ先程委員長ノ御話ノ點ハ是ハ役所ニアリマセヌノデ、役所モ買シテ居リマスカラ……、御審議ノ必要上是非御必要ナラバ、デスガ……

○金光委員長 チヨット申上ゲマスガ、大臣ガ御見エニナリマシクカラ成ベク大臣ヘノ御質問ヲ先ニ願ヒマス、尙ホ大臣ハ國務ノ爲ニ大分御疲勞ノ御模様デゴザイマスカ

ヲ致シテ居ル、隨テ物價ニモ非常ナ變動ヲ

ノ附加關稅ヲ賦課サレタノデアリマスガ、

其以後御承知ノ如ク爲替相場ガ非常ニ暴落スガ……

○金光委員長 チヨット申上ゲマスガ、大臣ガ御見エニナリマシクカラ成ベク大臣ヘノ御質問ヲ先ニ願ヒマス、尙ホ大臣ハ國務ノ爲ニ大分御疲勞ノ御模様デゴザイマスカ

ヲ致シテ居ル、隨テ物價ニモ非常ナ變動ヲ

ノ附加關稅ヲ賦課サレタノデアリマスガ、

其以後御承知ノ如ク爲替相場ガ非常ニ暴落スガ……

○金光委員長 チヨット申上ゲマスガ、大臣ガ御見エニナリマシクカラ成ベク大臣ヘノ御質問ヲ先ニ願ヒマス、尙ホ大臣ハ國務ノ爲ニ大分御疲勞ノ御模様デゴザイマスカ

ヲ致シテ居ル、隨テ物價ニモ非常ナ變動ヲ

ノ附加關稅ヲ賦課サレタノデアリマスガ、

其以後御承知ノ如ク爲替相場ガ非常ニ暴落スガ……

○前田委員 私ハ大臣ハ御疲勞ノヤウデアリマスカラ、後デ御疲デナイ時ニスルコトニ致シマス

○中島委員 私ハ大臣ハ御疲勞ノヤウデアリマスカラ、後デ御疲デナイ時ニスルコトニ致シマス

○前田委員 大臣ハ御疲勞ノヤウデアリマスカラ、私簡單ニ關稅ノ根本方針ニ付テ御尋申上ゲタイト思ヒマス、御承知ノ如ク現

行ノ關稅ハ大正十五年ニ一般ノ改正ヲサレ

マシテ以來、其後個々ノ改正ハアッタノデ

アリマス、併ナガラ一般ノ改正ハマダ行ハ

レテ居リマセヌ、隨テ其間物價ノ變動、或

ハ産業ノ狀態、其他ヨリシテ現行率ノ中ニ

ハ極メテ不適當デアリ、又不均衡デアルモ

ハ出テ居ラヌノデアリマス、ソコデ御尋申

上ガタイト思ヒマスルガ、大藏大臣ハ現在

ノ實情ニ鑑ミラレテ根本的ニ一般ニ向ッテ

改正ヲ爲ス御意思ガアルカドウカ、之ヲ先

昨年從量稅ノ大多數ニ對シマシテ三割五分

ノ附加關稅ヲ賦課サレタノデアリマスガ、

其以後御承知ノ如ク爲替相場ガ非常ニ暴落スガ……

アリマス、然ルニ今提出サレテ居ル改正法案ヲ見マスルト云フト、ホンノ御座ナリデ

アル、殆ド吾々ガ期待ヲ致シテ居ラタモノ

ハ出テ居ラヌノデアリマス、ソコデ御尋申

上ガタイト思ヒマスルガ、大藏大臣ハ現在

ノ實情ニ鑑ミラレテ根本的ニ一般ニ向ッテ

改正ヲ爲ス御意思ガアルカドウカ、之ヲ先

ヅ第一ニ御伺致シマス

ソレカラ第二ハ奢侈稅ノ關稅デアリマスガ、現行ノ贊澤品等ニ對シマスル十割ノ輸入

關稅ハ、御承知ノ如ク大正十三年ノ七月ト思ヒマスガ、新ニ賦課サレタノデアリマス、

是ハ申ス迄モナク當時ノ社會狀態ガ多少奢侈ヲ戒メテ國民精神ノ緊張ヲ圖リ、又一方

思ヒマスガ、新ニ賦課サレタノデアリマス、

是ハ申ス迄モナク當時ノ社會狀態ガ多少奢

侈ヲ戒メテ國民精神ノ緊張ヲ圖リ、又一方

思ヒマスガ、新ニ賦課サレタノデアリマス、

是ハ申ス迄モナク當時ノ社會狀態ガ多少奢

侈ヲ戒メテ國民精神ノ緊張ヲ圖リ、又一方

思ヒマスガ、新ニ賦課サレタノデアリマス、

是ハ申ス迄モナク當時ノ社會狀態ガ多少奢

侈ヲ戒メテ國民精神ノ緊張ヲ圖リ、又一方

思ヒマスガ、新ニ賦課サレタノデアリマス、

是ハ申ス迄モナク當時ノ社會狀態ガ多少奢

侈ヲ戒メテ國民精神ノ緊張ヲ圖リ、又一方

思ヒマスガ、新ニ賦課サレタノデアリマス、

是ハ申ス迄モナク當時ノ社會狀態ガ多少奢

○高橋國務大臣 關稅ハ申ス迄モナク、其國ニ依ツテハ歲入ヲ圖ル爲ニソレヲ主トシテ關稅ヲ定メルト云フ國モアル、多クハサウ云フ國デアル、併シ前ニハ自由貿易デ、タケレドモ、自由貿易ヲヤッテ居ル國デモ矢張煙草トカ「ココア」サウ云フモノニハ稅ヲ課ケテ居ルノデ、全ク無稅ト云フモノハナイ、併シ方針トシテ區別スレバ自由貿易主義ノ關稅政策、ソレカラ歲入ノ增加ヲ圖ル爲ノ關稅政策、ソレカラ今一ツハ自國ノ幼稚ナ產業方面、之ヲ保護シ十分ニ發達セラル、而モソレガ發達スレバ敢テ輸入品ヲ無稅トシテモ十分競爭シ得ルト云フヤウナ望ノアルモノヲ選ンデ、之ヲ數年間外國品ニ重い稅ヲ課シテ保護スル、凡ソ關稅ハ此三ツノ目的デ從來制定サレタモノデアル、此節ハドウカト申スト、御承知ノ通り皆ソレゾレ自給自足ノ方針ニ依ツテ自國ノ產業ノト云フ點カラシテ、外國カラ入ル物ニ對シテハ關稅ヲ取ル、或ハ關稅ノ障壁ヲ高クスシナケレバ、外國ニ對シテ支拂フベキ力ガナイノデ、已ムヲ得ズ自國ノ物デ間ニ合ハス、隨テ自國ノ工業ヲ獎勵スル、保護スルト云フ點カラシテ、外國カラ入ル物ニ對シテハ關稅ヲ取ル、或ハ關稅ノ障壁ヲ高クスシナケレバ、外國ニ對シテ支拂フベキ力ガナイノデ、已ムヲ得ズ自國ノ物デ間ニ合ハス、隨テ自國ノ工業ヲ獎勵スル、保護スル

モ矢張ソレニ準シテ關稅ノ政策ヲ樹テナケレバナラヌ、併シ何トシテモマダ世界ノ國際間ノ經濟狀態ト云フモノガ常道ニ復シテ居ラナイ、固ヨリ關稅ト雖モ成ベク不公平ノナイヤウニ改ムベキモノハ改メ、前田君ノ御話ノヤウニ根本カラ改メナケレバナラヌ必要ガアル、併シ今日ノ世界各國ノ經濟狀態カラ見マスルト、ソレナラ斯ウ改メテ宜イト云ヅテ關稅政策ヲ根本カラ改正スルト云フコトハ少シ困難デアル、他ノ國ガ動ケバ矢張從ツテ此方モ動カナケレバナラヌ、ソレ故ニ今回ハ先づ萬已ムヲ得ザルモノ、外ハ動カサヌ、當分今日ノ儘デ行クヨリ仕方ガナイ、斯ウ大藏當局トシテハ考ヘテ居ル、併シ今度ノ木材等ニ付テ新ニ又稅ヲ重クスルトカ云フヤウナコトハ、一ツ／＼ノ關稅ノ問題ニ付テ其適否ヲ考ヘルコトハ、是ハ關係ノ役所ノ意見ニ大藏省トシテハ重キヲ置イテ居ル、其改正ガ適當デアルカナイカト云フコトハ、大藏省ノ人ガ御答ヲスルヨリハ、其關係省ノ政府委員カラ御答ヲシタ方ガ適當ダラウト思フ、根本的ノ改正ヲスル意思ハアルカナイカト云フコトデアリマスルガ、無論斯ウ云フ改正ヲスル必要ガアルト思フ、ソレハ他國ノ經濟狀態、國際間ノ取引狀態ガ先づ是デ安定シタ、是デ宜

今無暗ニ動カスベキ時デヤナカラウ、據ロ
ナク現在ノ工業者、農業者等ニ對シテ、ド
ウシテモ今日直チニ是ダケハ改正シテ行カ
ナケレバナラヌト云フ必要ナ物ダケニ今度
ノ改正ハ止メタノデアル、ホンノ申譯トカ
何トカサウ云フ意味デハナイ、今日ハ成タ
ケ動カサヌガ宜イ、今日動カシタカラト云
ウテ、ソレガ永ク續ク目途モ立タヌ、併シ
今日捨テ、置ケナイト云フモノハ手ヲ著ケ
ル、是ダケ御諒承フ願ヒタイ

ノ低落トカ物價ノ狀態、斯様ナコトカラ見
マシテ、現行率ガ非常ニ不均衡ニナッテ居
ル、其結果トシテ日本ノ產業ノ上ニ亦國
民生活ノ上ニ、非常ニ不公正ナル結果ヲ齎
シテ居ル多クノ事實ガアルト致シマシタナ
ラバ、矢張ソレハ進ンデ政府トシテハ改正
ヲサレルコトガ正當デアラウト思ヒマス、
私共ノ見ル所デハ今回ノ御提案ノモノダケ
デハ決シテ公正ヲ期シ難イト考ヘテ居リマ
スガ、併シ其各費目ニ付キマシテハ、是ハ
事務的ノコトデアラウト思ヒマスガ故ニ、
此處デハ相當平靜ニ復スル迄ノ期間ハ長
イ、其間ソレ／＼不均衡ナモノヲ改正シテ
貰ハナケレバ、我國產業ノ上ニ、國民生活
ノ上ニ、非常ナ悪イ影響ガアルト云フコト
ヲ力説致シマシテ、大藏大臣ノ御反省ヲ促
シテ置キマス

更ニ只今非常ナ不均衡ナ分ダケハ今日改
正スルコト、シテ提案ヲ致シタノデアル、
木材關稅ノ如キモ其一ツノ例デアルト仰セ
ラレテ居リマスガ、前ノ議會ニ於キマシテ
從量稅ノ大數ニ對シマシテ三割五分ヲ賦
課シタ、其時ノ提出ノ御説明ヲ聽キマシテ
モ、當分ノ内ト云フコトガ書イテアル、又
臨時議會ニ於テハ院議デ以テ、速ニ之ヲ或
ル時機ニ權衡ヲ圖ルヤウニシテ貰ヒタイ、

第六類第一號 造幣局工場及其ノ附屬設備

備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)外二件委員會議錄

第十八回 昭和八年三月十日

或ハ其意味ハ或モノハ撤廢シ、或物ハ増スト云フ意味ニモ解セラレルノデアリマスガ、早ク之ヲ將來何トカ公正ニヤッテ貰ヒタイ、斯ウ云フ意思ヲ發表致シテ居ルノデアリマスガ、其後ニ於キマシテ爲替相場ガ非常ニ低落ヲ致シテ居ル、ソレガ爲ニ相當輸入價格ニ變動ヲ生ジ、又ソレガ爲ニ從量稅ト從價稅トガ非常ナ不均衡ヲ來シテ居ルモノガ少クアリマセヌ、又其後ニ於キマシテ、内地產業ニ於テモ多少ノ變化ヲ來シテ居ル、斯ウ云フコトガ事實デアリマス以上ハ、ドウシテモ此議會ニ於キマシテ、三割五分ノ附加稅ニ付キマシテモ、相當整理ヲ爲サルベキ必要ガアラウト私共ハ考ヘテ居ツタノデアリマス、之ヲ御出シニナラヌト云フコトハ、私或ル意味ニ於テ當局ノ怠慢デナイカトモ考ヘルノデアリマスガ、此三割五分ノ附加稅ト云フモノハ改正ノ必要ハナイト大藏大臣ハ御考ヘニナッテ居ルノカドウカ、一ツ此點ヲハッキリ御答願ヒタイ

○高橋國務大臣 今度ノ改正ハ不均衡ヲ直スト云フ意味カラ起ツタ改正デヤナイ、内地ノ工業ヲ保護スル爲ニ捨置キ難キ、已ムニ已マレヌモノニ手ヲ著ケタノデアリマス、爲替相場ト云フモノガ、世界中安定シナイト云フト、關稅モ始終變ヘナケレバナラヌ

ヤウニナル、從價稅ト從量稅トノ間ノ不均衡ナコトヲ直スト云フコトモ、是ハ稍々爲替相場ガ各國ノ間ニ定ッテ、各國ノ政策ガ定テ來ルト云フヤウナ時デナケレバ公平ニ定メルコトハ私ハムヅカシイト思フ、併シサウ云フコトヲ爲シ得ル時ニナレバ、無論アナタガ言ハレル通りニ、根本のノ改正ヲスル必要ガアルト私ハ認メテ居リマス

○前田委員 只今三割五分ノ附加稅ハ從價稅トノ均衡ヲ得ル爲ニヤッタノデハナイト仰セラレマスガ、當時政府ノ説明ハサウヂヤナカッタノデアリマス

○高橋國務大臣 今私ガ言ウタノハ、只今問題ニナッテ居ルモノヲ改メタノハ、從量稅ト從價稅トノ均衡ヲ得ル目的ノ爲ニヤッタノヂヤナイ、斯ウ云フ意味ニ言ウタノデアリマス

○前田委員 今度ノ提案ハソレデ宜シイ、併シ私ノ申上ゲテ居ルノハ、三割五分ノ附加稅ト云フモノハ全般的ニ均衡ヲ得ル爲ニ政府ハ提案シタト云フ説明デアッタ、然ルニ加稅ト云フモノハ其後爲替相場ノ低落、其他ノ事情ニ依ッテハ始終動イテ居ルカラ、直グニ不均衡ニナリハシナイカ、私ハ能クサウ云フコトヲ調ベテ居リマセヌガ、理論上カラ申シマシテ、サウナリハシマセヌカ

○高橋國務大臣 均衡ヲ得ルト云フコトノ必要ハ無論アリマセウ、併ナガラ爲替相場ハ止メマス、アトノ事務的ノコトハ他ノ政府委員ニ或ル機會ニ質問致シマス

○小谷委員 私ハ丁度大藏大臣ガ居ラッシヤイマス機會デアリマスカラ、簡単ニ一ツ御尋シテ見タイト思ヒマス、ソレハ染料關稅ニ對スル問題デアリマスガ、今御話ノアリマスケレドモ、大藏大臣ノ御意見ヲツ伺シテ見タイ、染料關稅ノ問題デアリマス

點ニハ餘リ觸レテ居ラナイ、私ハドウシテモ矢張政府ハ或ル意味ニ於テ怠慢デハナイカ、斯様ニモ考ヘラレマス、聞ク所ニ依リマスト、約二十種餘ノモノハドウシテモ改正ノ必要ナモノガアル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、或ハ當業者ノ反対トカ、或ハ關係者ノ反対ガアッテソレヲ引込メタト云フヤウナコトガ新聞ニ傳ヘラレテ居リマス、私ハ新聞ノ事柄ヲ全部事實トハ考ヘマセヌケレドモ、併シ左様ナコトガナクテモ均衡ヲ來シテ居ルト云フコトガ事實デアル以上ハ、國家ノ大局カラ見テ、國民生活ノ上ニ非常ナ影響ノアル此關稅ハ、速ニ公正ヲ期スルヤウニ改正フサレルト云フコトガ、此場合最モ必要ナリト考ヘテ居ルノデアリマス、此點ヲモウ一度ハッキリ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○高橋國務大臣 均衡ヲ得ルト云フコトノ必要ハ無論アリマセウ、併ナガラ爲替相場ニ速ニ現下ノ事情ヲ能ク考ヘラレテ、サウシテ公正ニ改正サレンコトヲ茲ニ再び希望致シマシテ、私ノ大藏大臣ニ對スル質問テハ國民生活ニ惡イ影響ヲ來サルヤウニ、速ニ現下ノ事情ヲ能ク考ヘラレテ、サウシテ公正ニ改正サレンコトヲ茲ニ再び希望致シマシテ、私ノ大藏大臣ニ對スル質問ハ止メマス、アトノ事務的ノコトハ他ノ政府委員ニ或ル機會ニ質問致シマス

○小谷委員 私ハ丁度大藏大臣ガ居ラッシヤイマス機會デアリマスカラ、簡単ニ一ツ御尋シテ見タイト思ヒマス、ソレハ染料關稅ニ對スル問題デアリマスガ、今御話ノアリマスケレドモ、大藏大臣ノ御意見ヲツ伺シテ見タイ、染料關稅ノ問題デアリマス

ガ、内地ノ染料ノ製造業者ト染料ヲ使ヒマ
ス者ト、兩方面カラ色々運動モアリマス、
私共ハ兩方ノ話ヲ色々聽イテ見マスノニ、
染料ヲ製造シマス側デハ、内地デ大抵ノ染
料ハ全部出來ルト言ッテ居リマス、所ガ染料
ヲ使ヒマス方ノ側カラ聽キマスト、或ハ試
験管デハ出來ルカモ知レマセヌガ、經濟的
ニ實際ニ算盤ノ採レルヤウナモノハ出來ナ
イト云フ話ヲ聞イテ居リマス、内地デ出來
ナイ染料ニ對シテハ、關稅ヲ撤廢シテ、輸
入染料ヲ使ッテ、輸出貿易ヲ盛ニスルト云フ
ヤウナコトハ出來ナイモノデアリマセウ
カ、大藏大臣ノ御意見ヲ承リタイ

○高橋國務大臣 染料ノ事ハ成程私聞キマ
シタ、是ハ商工省ノ人ガ一番能ク知ッテ居
ルダラウト思ヒマス、ソレデ成程今御話ノ
通り日本デ出來ルト決ッタモノハ保護スル
ガ、出來ナイモノハ、唯試驗室デハ出來テ
モ、實際ニ出來ナイモノヲ保護シテヤルニ
ハ及バヌデヤナイカト云フ論ガアルト云フ
コトモ聞キマシタ、ケレドモサウ云フ試驗
室デ出來ルモノヲ、實際商賣的ニ出來ル見
込ガアルヤウニ之ヲ進メテ行クノニハ、矢
張ソレヲ保護スル必要ガアルト云フコトモ
聞イテ居リマス、是ハ試驗室デ出來タモノ
ガ商賣的ニ出來ナイト云フコトハ無イノデ

アリマス、今日迄ニ段々日本デ出来ルモノ
ノ數ガ多クナッテ居ルノハ、皆相當保護ヲ加
ヘタカラデアル、ソレダカラサウ云フモノ
ハ保護スル必要ガアルト云フコトヲ先達テ
私ハ聽キマシタガ、サウ云フ事ハドウカ商
工省ノ方ノ専門家ニ御尋下サレバ、尙ホ一
層詳シイ御答ガ出來ルト思ヒマス

○野中委員 極メテ簡単ニ御質問申上ダマ
ス、今前田君ガ質問致シマシタガ、アレニ關
聯スル事項デアリマス、今前田君ニ對スル
大藏大臣ノ御説明ヲ聽イテ居リマスト、今
日ニ於テハ爲替相場ガ色々變動スル故ニ、
變動ノ無イヤウナ安定スル時機ヲ俟テ、
始メテ關稅ノ根本的改正ヲスルト云フ御意
嚮ノヤウデアリマス、之ニ對シテ前田君ハ
改正スル意思ガアリトスルナラバ、今日不
均衡ナルモノハ即時ニ改正シナケレバナラ
ナイヂヤナイカ、即チ此爲替相場ノ變動ノ
狀態ハ何時マデ續クカ分ラヌ、又各國ノ安
定ヲ期スルト云フコトモ中々ムヅカシイ、
故ニ改正スル意思ガアリヤ否ヤト云フコト
デ、只今御意見ヲ伺ヒマシタ所ガ、大藏大
臣ハサウ云フ御考ハ無イヤウナ御意嚮ノヤ
ウデアリマスガ、私ハソレヨリ更ニ一步ヲ
進メマシテ、サウ云フ非常ナ爲替相場ノ變
動ガアル、又各國ノ經濟事情ノ動搖ガア

ル、又將來ニ於テ動搖ガ續クデアラウト相
像セラル、今日ニ於キマシテハ、此關稅ヲ
根本的ニ改メテ、即チ從量稅ヲ寧ロ從價稅
ニ改メタ方ガ宜イヂヤナイカ、斯ウ考ヘル
ノデアリマス、勿論從量稅ノ根本基礎ハ、從
價稅詰リ値段ト云フモノガ中心デアリマス
ルカラ、從量稅ノ基礎ト云フモノハ、惟フ
ニ從價稅デアリマセウ、故ニ今日施行セラ
レテ居リマスル關稅ノ稅ノ種目ヲ改メマシ
テ、今マデ從量稅ニ於テ爲シテ居リマスル
モノヲ、從價稅ニ於テ爲ス御意思ガアリマ
スカドウカ、此問題ニ付キマシテ御伺致シ
タイト思ヒマス

ニ不便ヲ蒙ムル、從價稅ハ洵ニ宜イト思フ
ケレドモ、取扱ノコトモ亦能ク考ヘテ見ナ
ケレバナラヌ、斯ウ心得ヘテ居リマス
○野中委員 大藏大臣ガ私ト同ジヤウナ氣
持ヲ持ッテ居テ吳レマスコトハ、洵ニ同慶ニ
堪ヘナイノデアリマス、此前ニ政府委員ニ
御質問申上ゲマシタ時ニ於キマシテモ、從
價稅ノ實際ノ取扱ト云フモノハ稅關ニ於テ
困難デアルト云フヤウナ意味合カラ、從量
稅ヲ用ヒルノデアルト云フ考デアリマシ
テ、更ニ政府委員ハ之ヲ改正スル意思ガナ
イト云フコトマデ極論致シマシタガ、私ハ
サウデモアルマトイ云フヤウナコトカラ、
所謂根本的觀念ノ相違デアルト云フコトデ
分レマシタガ、今日大藏大臣ノ御説明ヲ聽
キマシテ洵ニ満足スルノデアリマス、併シ
斯ウ云フヤウナ非常時局ノ場合ニ於キマシ
テハ、幾分稅關ノ手續ノ上ニ於キマシテ困
難デアリマシテモ、前田君ノ御説明ニモア
リマシタ通り、輸入品ノ關稅ノ正鶴ヲ期シ、
又其關稅ガ適當ニ課セラレルト云フヤウナ
意味合カラ、從價稅ガ私ハ適當デアラウト
相場ノ激變ガ將來豫想サレ、或ハ又各國ノ
經濟狀態ガ不安ノ狀態ガ續クト云フ場合ニ
思ヒマス、故ニ若シ政府ニ於キマシテ爲替

於キマシテハ、一日モ早ク其方ニ向ッテ、即チ從價稅ノ方向ニ向ッテ進、マレンコトヲ希望申上ゲテ置キマス

斯ウ云フヤウニ從量稅ヲ課スルヨリモ從價稅ガ最善デアルト云フコトハ御認ノ通りデアリマスガ、私ハ更ニ進ミマシテ、日本ノ關稅政策ト云フ建設前カラ見テ、今日ノ高關稅、所謂高關稅政策ト云フモノハ、或ハモウ少シ更ニ匡正サレテ行クベキモノデハナカラウカ、今マデハ唯單ニ日本ノ現在ノ關稅ヲ中心ト致シマシテ論ジタノデアリマスガ、所謂關稅政策トシテ見ル場合ニ於キマシテ、或ハ自由主義ト云フヤウナ立場ヲ執ルト云フ方ガ、今日ノ日本ノ財政狀態カラ見テ適當ナモノデハナカラウカ、即チ高關稅ヲ取ルニシテモ、例ヘバ爲替ガ下ルト云フヤウナ場合デアリマスレバ、其關稅ノ障壁ハ實際ニハ強イ障壁トハ成リ得ナイ、又逆ニソレガ行ッタ場合ニ於キマシテハ殆ド禁止的ナ關稅ニナリ得ル、故ニ斯ウ云フ日本ノ爲替相場ガ今日移動シテ居ル場合ニ於キマシテハ、寧ロ此關稅ニ關シマシテ更ニ一步ヲ進メタ所ノ方策ヲ執ルコトガ、日本ノ國民經濟生活ノ爲ニ必要デハナカラウカト思ヒマスガ、其一步ヲ進メタト云フ政策ハ即チ貿易管理デアリマスガ、此貿易管理ノヤ

ウナコトヲ日本ニ於キマシテハ爲スヤウナ考ガアリマスカドウカ、勿論此前ノ爲替管

理法ノ委員會ノ席上ニ於キマシテ、アノ内シタ所ガ、間接ノ爲替管理マデ行クト云フヤウナ場合ガアルカモ知レナイト云フヤウナコトデ作ラレタヤウデアリマスカラ、私ハ此場合ニ於キマシテ更ニ政府ハ一步ヲ進メテ貿易管理マデ爲スヤウナ御意思ガアルカドウカ、惟フニ是カラ先ノ經濟狀態、殊ニ爲替相場ノ變動ニ依リマスルナラバ、此物價ノ騰落ト云フモノガ非常ナモノデアラウト思フ、隨テ其物價ノ騰落ガ引續イテ日本ノ國民生活ニ影響スルコトハ當然デアリマス、故ニ此爲替ガ若シ平衡スルモノデアラルト云フ前提デアリマスナラバ、今日ノ此關稅ノ態様ニ於キマシテモ差支アリマスマス、若シ是ガ極端ニ上ルモノデアルト云イガ、若シ是ガ極端ニ上ルモノデアルト云フナラバ、更ニソレヲ改正シナケレバナルマイン、又下ルモノデアルトスレバ、又ソレニ順應シテヤラネバナリマスマイ、故ニ甚ダ複雜面倒デアル、寧ロ此場合ニ於キマシテハ亞米利加ノ關稅政策ノ失敗ノ跡ニ鑑行ク、詰リ物々交換ト云フ原理ニ戾ラニヤ

點ニ關シマシテノ大藏大臣ノ御所見ヲ承^ッ考ガアリマスカドウカ、勿論此前ノ爲替管理法ノ委員會ノ席上ニ於キマシテ、アノ内シタ所ガ、間接ノ爲替管理マデ行クト云フヤウナ場合ガアルカモ知レナイト云フヤウナコトデ作ラレタヤウデアリマスカラ、私ハ此場合ニ於キマシテ更ニ日本ナドモノ爲替ニ對シテ相場ガ低イノデアリマスカラ、日本ノ品物ハ是ハ即チ「ダンビング」ニナコト云ウテ取扱ヲサレテ居ルト云フ形デナルト云ウテ取扱ヲサレテ居ルト云フ形デアリマス、成ベク貿易ノ上ニ於テハ、サウ云カドウカ、惟フニ是カラ先ノ經濟狀態、殊ニ爲替相場ノ變動ニ依リマスルナラバ、此物價ノ騰落ト云フモノガ非常ナモノデアラウト思フ、隨テ其物價ノ騰落ガ引續イテ日本ノ國民生活ニ影響スルコトハ當然デアリマス、故ニ此爲替ガ若シ平衡スルモノデアラルト云フ前提デアリマスナラバ、今日ノ此關稅ノ態様ニ於キマシテモ差支アリマスマス、若シ是ガ極端ニ上ルモノデアルト云イガ、若シ是ガ極端ニ上ルモノデアルト云フナラバ、更ニソレヲ改正シナケレバナルマイン、又下ルモノデアルトスレバ、又ソレニ順應シテヤラネバナリマスマイ、故ニ甚ダ複雜面倒デアル、寧ロ此場合ニ於キマシテハ亞米利加ノ關稅政策ノ失敗ノ跡ニ鑑行ク、詰リ物々交換ト云フ原理ニ戾ラニヤ

ト云フ廣汎ノ權限ヲ政府ニ與ヘラレテ置キ

要ナ場合ニハ之ヲヤル積リデ、爲替管理法

相手國ノ通貨ト物價トノ關係デ始終動クノ其部類ニ入^ッテ居リマス、日本ノ爲替ガ外國デアリマス、ソレ故ニ今日デハ日本ナドモ

タイト云フ希望デアレヲ出シテ居ル、併シ上ニ害ガアルノデスカラ、必要ガナケレバヤラヌ積リデアル、必要ガアレバ何時デモ

發動スル、斯ウ云フ考デアリマス

○高橋國務大臣 爲替相場ガ今ノ所デハ其ト云フ廣汎ノ權限ヲ政府ニ與ヘラレテ置キ

要ナ場合ニハ之ヲヤル積リデ、爲替管理法相手國ノ通貨ト物價トノ關係デ始終動クノ其部類ニ入^ッテ居リマス、日本ノ爲替ガ外國デアリマス、ソレ故ニ今日デハ日本ナドモ

タイト云フ希望デアレヲ出シテ居ル、併シ上ニ害ガアルノデスカラ、必要ガナケレバヤラヌ積リデアル、必要ガアレバ何時デモ

○野中委員 今大藏大臣ノ御説明ニ依リマスト、必要デアレバヤルト云フ御話デアリマスルガ、モウ一遍御伺致シマスガ、必要

ナ状态ヲ生ズルヤウナ工合ニナリマセウカドウカ、此點ニ付キマシテノ大藏大臣ノ御意見ヲ承リタイ

○高橋國務大臣 マア今日ノ所デハ、サウ云フ心配ハナカラウトハ思ヒマスケレドモ、御承知ノ通り、愈、國際聯盟ヲ脱スル、其場合ニ極端ナ「ボイコット」ハ、是ハ出來マスマイ、併ナガラ各國共ニ共同ノ動作ヲ取^ッテ、我國ニ經濟上壓迫ヲ加ヘルト云フコトハ、或ル程度迄ハ或ハ來ルカモ知レヌト

覺悟シナケレバナラヌ、最惡ノ場合ヲ常ニ考ヘテ居ラネバナラヌ、其場合ニ於テハ、之ニ對シテ自衛ノ爲ニ貿易管理ヲヤルト云フコトハ、當然起^ッテ來ル問題デアッテ、是ハドノ位ノ他カラノ壓迫ヲ受ケルカ、其程

行カナイト、是ハ完全ニ功ヲ奏シナイ、必考^トナコトヲ日本ニ於キマシテハ爲スヤウナ考ガアリマスカドウカ、勿論此前ノ爲替管

理法ノ委員會ノ席上ニ於キマシテ、アノ内シタ所ガ、間接ノ爲替管理マデ行クト云フヤウナ場合ガアルカモ知レナイト云フヤウナコトデ作ラレタヤウデアリマスカラ、私ハ此場合ニ於キマシテ更ニ日本ナドモノ爲替ニ對シテ相場ガ低イノデアリマスカラ、日本ノ品物ハ是ハ即チ「ダンビング」ニナコト云ウテ取扱ヲサレテ居ルト云フ形デナルト云ウテ取扱ヲサレテ居ルト云フ形デアリマス、成ベク貿易ノ上ニ於テハ、サウ云カドウカ、惟フニ是カラ先ノ經濟狀態、殊ニ爲替相場ノ變動ニ依リマスルナラバ、此物價ノ騰落ト云フモノガ非常ナモノデアラウト思フ、隨テ其物價ノ騰落ガ引續イテ日本ノ國民生活ニ影響スルコトハ當然デアリマス、故ニ此爲替ガ若シ平衡スルモノデアラルト云フ前提デアリマスナラバ、今日ノ此關稅ノ態様ニ於キマシテモ差支アリマスマス、若シ是ガ極端ニ上ルモノデアルト云イガ、若シ是ガ極端ニ上ルモノデアルト云フナラバ、更ニソレヲ改正シナケレバナルマイン、又下ルモノデアルトスレバ、又ソレニ順應シテヤラネバナリマスマイ、故ニ甚ダ複雜面倒デアル、寧ロ此場合ニ於キマシテハ亞米利加ノ關稅政策ノ失敗ノ跡ニ鑑行ク、詰リ物々交換ト云フ原理ニ戾ラニヤ

度ニモ依ルコトデスガ、併シ先ヅソレ迄ニ
酷イコトニハナルマイトハ自分でハ今考ヘ
テ居リマスケレドモ、併シ何トモ言ヘナイ、
ト云フノハ、國際聯盟ト云フノハ——歐羅
巴ノアノ小サナ何ト云フ新ニ出來タ國々
ハ、アレニ依ッテ生存シテ居ルノデアル、ア
レニ依ッテ生存シテ居ルノダカラ、其國際聯
盟ヲ、日本ノ爲ニ其權威ガナクナツテ、國際
聯盟ト云フモノガ役ニ立タナイヤウナモノ
ニナツタト言ハレテハ、彼等ノ國家ノ生存ニ
大關係ヲ有ツノダカラ、何トシテモ彼等ハ
國際聯盟ノ權威ト云フモノハ保ツテ行カナ
ケレバナラヌ、斯ウ云フ立場ニアルノダカラ
シテ、相當ナ所マデハ、日本ノ爲ニ國際
聯盟ガ其權威ヲ失フト云フコトハ、日本ガ
怪シカラヌカラダ、斯ウ云フ風ニ怒ツテ來
ルノハ、是ハドウモ已ムヲ得ヌ、唯其彼等
ガ問題デアル、併シ其實現ノ程度ハサウ酷
イコトハナカラウト思ツテ居ル

○野中委員 能ク諒承致シマシタガ、實ハ
私共モ國際聯盟ガ必ズ決議ノ仕放シヲスル
モノニ非ズシテ、日本ニ對シテ相當ノ報復
ノ手段ヲ講ズルデアラウ、是ガ如何ナル形
式ニ於テ現ハレテ來ルカ、或ハ經濟封鎖ト
云フ形式デ現ハレテ來ルカ、經濟封鎖ニナ
レニ依ッテ生存シテ居ルノダカラ、其國際聯
盟ヲ、日本ノ爲ニ其權威ガナクナツテ、國際
聯盟ト云フモノガ役ニ立タナイヤウナモノ
ニナツタト言ハレテハ、彼等ノ國家ノ生存ニ
大關係ヲ有ツノダカラ、何トシテモ彼等ハ
國際聯盟ノ權威ト云フモノハ保ツテ行カナ
ケレバナラヌ、斯ウ云フ立場ニアルノダカラ
シテ、相當ナ所マデハ、日本ノ爲ニ國際
聯盟ガ其權威ヲ失フト云フコトハ、日本ガ
怪シカラヌカラダ、斯ウ云フ風ニ怒ツテ來
ルノハ、是ハドウモ已ムヲ得ヌ、唯其彼等
ガ問題デアル、併シ其實現ノ程度ハサウ酷
イコトハナカラウト思ツテ居ル

○高橋國務大臣 先刻モ申ス通り、大藏當
局トシテハ最惡ノ場合ヲ常ニ考ヘテ居ル、
或ハ更ニ進ンデ所謂武力的干涉デ來ルカ、
何レカハ知ラヌケレドモガ、相當ナ報復ガ
アルデアラウト云フコトヲ考ヘテ居リマ
ス、又同時ニ之ニ對シテ吾々ト致シマシテ
ハ、此場合ニ最善ノ方策ヲ立テナケレバナ
ラヌノデアリマス、サウ云フヤウナ意味合
カラ、國際聯盟ガ可ナリ日本ニ對シテ壓力
ヲ加ヘテ來ルデアリマセウシ、ソレデアリ
マスルカラ、私共ハ之ニ對スル用意ヲ怠ッ
テハナラヌト考ヘテ居リマス、其用意ノ問
題デ御伺致シマスガ、大藏省ハ之ニ對スル
御用意ガアリマスカドウカ、此事柄ガ起ツ
テカラ後ニ於テ調査シタリ、或ハソレニ對
スル施行細則ナドヲ設ケルト云フヤウナコ
トデアリマスルト、考ヘルヤウナコトデア
リマスルト、所謂泥棒ヲ捕ヘテ繩ヲ絞ウト
ル場合ガ多イノデアリマス、故ニ私共ハサ
ウ云フコトハ、マアナカラウトハ思ヒマス
ルケレドモ、アルト云フコトヲ前提トスル
ナラバ、此場合ニ多少ノ用意ヲシナケレバ
ナラヌト思ヒマスガ、此場合ニ於テ大藏省
ニ於テハ左様ナ御用意ヲ爲シテ居ル事實ア
リヤ否ヤ、之ヲ御伺致シマス

○高橋國務大臣 先刻モ申ス通り、大藏當
局トシテハ最惡ノ場合ヲ常ニ考ヘテ居ル、
如何ナルコトガアラウトモ狼狽スルヤウナ
コトハナイ、常ニ其用意ハシテ居ルノデア
リマスカラ、マア大體是レ位ニシテ置キタ
リマス

○野中委員 大藏大臣ノ言葉ヲ返スヤウデ
ゴザイマスルガ、此前ニ爲替管理法ノ問題
デ、私共ノ委員ノ方カラ屢々質問ヲ致シマシ
タ、其質問ニ對スル政府ノ答辯ニ於キマシ
テハ、明答ヲ與ヘラレナカッタコトガ非常
ニ多イ、隨テ想フニアノ爲替管理法ヲ提出
致シマシテモ、政府ハ之ニ對スル色々々ナル
準備ガ不十分デアッタ見ナケレバナラヌ
デハナカラウカト思フ、故ニ同ジヤウナ意
味合ヲ以テ、此關稅問題ニ付キマシテモ、政
府ガ十分ノ準備ガナイナラバ、此問題ヲ眞
ニ日本ノ國策ノ爲ニ遂行スルコトガ出來ナ
イノデアリマスルガ、今マデノ大藏省ノ遣
アリマスルガ、事務上カラ見テ、ドウモ用
意ガ行届カヌト云フヤウナ工合ニ考ヘラ
マス、故ニ此場合私ハ大藏大臣ノ意思ガ其
點ニアルト云フナラバ、敢テ追窮ハ致シマ
セヌガ、要スルニ大藏省ニ於キマシテハ、
此問題ニ付テ有ユル智囊ヲ傾ケ、有ユル狀
態ヲ考ヘマシテ、之ニ對スル適法ナル處置
ヲ今ノ中カラ用意セラレンコトヲ希望致シ
テ置キマス、先づ根本的ノ問題ハ是レ位デ
ゴザイマスカラ、大藏大臣御疲勞ノ際デア
リマスカラ、マア大體是レ位ニシテ置キタ
リマス

○野中委員 大藏大臣ノ言葉ヲ返スヤウデ
ゴザイマスルガ、此前ニ爲替管理法ノ問題
デ、私共ノ委員ノ方カラ屢々質問ヲ致シマシ
タ、其質問ニ對スル政府ノ答辯ニ於キマシ
テハ、明答ヲ與ヘラレナカッタコトガ非常
ニ多イ、隨テ想フニアノ爲替管理法ヲ提出
致シマシテモ、政府ハ之ニ對スル色々々ナル
準備ガ不十分デアッタ見ナケレバナラヌ
デハナカラウカト思フ、故ニ同ジヤウナ意
味合ヲ以テ、此關稅問題ニ付キマシテモ、政
府ガ十分ノ準備ガナイナラバ、此問題ヲ眞
ニ日本ノ國策ノ爲ニ遂行スルコトガ出來ナ
イノデアリマスルガ、今マデノ大藏省ノ遣
アリマスルガ、事務上カラ見テ、ドウモ用
意ガ行届カヌト云フヤウナ工合ニ考ヘラ
マス、故ニ此場合私ハ大藏大臣ノ意思ガ其
點ニアルト云フナラバ、敢テ追窮ハ致シマ
セヌガ、要スルニ大藏省ニ於キマシテハ、
此問題ニ付テ有ユル智囊ヲ傾ケ、有ユル狀
態ヲ考ヘマシテ、之ニ對スル適法ナル處置
ヲ今ノ中カラ用意セラレンコトヲ希望致シ
テ置キマス、先づ根本的ノ問題ハ是レ位デ
ゴザイマスカラ、大藏大臣御疲勞ノ際デア
リマスカラ、マア大體是レ位ニシテ置キタ
リマス

今日ニ於キマシテハ所謂差別待遇ガ行ハレテ居ルヤウデゴザイマス、朝鮮總督府ニ於キマシテハ、其差別的待遇ヲ除去セントスル考デ、所謂補助金ト云フヤウナモノヲ大藏省ニ請求致シマシタガ、本年度ニ於テ撥ネラレタト云フヤウナコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、想フニ朝鮮ノ木材——朝鮮ノ木材バカリデハナクテ、是カラソレヨリモ更ニ重大ナル吾々ガ考ヘナケレバナラヌノハ、材バカリデハナクテ、是カラソレヨリモ更ニ重大ナル吾々ガ考ヘナケレバナラヌノハ、

滿洲ト内地トノ産業經濟ニ於テハ、御互ニ都合ノ好イヤウニ、双方利益ニナルヤウニ、是ハ取極メテ行カナケレバナラヌ、隨テ特惠條約ト云フト、他國ガソレニ均霑スルト云フヤウナコトニナリマスルカラ、ヤハナク、總テノモノデアリマスルガ、此點ヲドウ云フヤウナ工合ニ政府ニ於テハ御考ニナッテ居ルカ、或ハ滿洲國トノ關稅問題、所謂特惠關稅ト云フヤウナモノヲ設定スル御意思カアルカドウカ、若シ特惠關稅ニ依テ、他ノ國家ガ滿洲國ヲ承認シタ場合ニ、ソレニ均霑サレル、サウスルト或ハ日本ノ國益ヲ侵サレルト云フヤウナ御心配モアルカモ知レマセヌガ、併ナガラ日本ノ國民生활ノ立場カラ見テ、更ニ滿洲ノ將來カラ考ヘテ見テ、ドウシテモ彼處ニ對シテハ今マデト違ツタ方策ヲ執ラナケレバナラヌ、殊ニ此關稅問題ニ關シテハ、違ツタ所ノ様式ヲ執ガ、政府ハドウ云フ方策ヲ以テ此滿洲國ニ對シマスルカ、是等ノ問題ニ付キマシテ大

藏大臣ノ最高ノ御意見ヲ承リタイト考ヘマス

トニ來タリ得ナイト私共ハ考ヘテ居リマスルカラ、隨テ滿洲國ニ於キマシテハ外國デ

シナケレバナラヌコトモ言フ迄モアリマセヌ、デ高粱ト玉蜀黍ガ近頃農村ノ養雞飼料

トシテ最モ重要ナル役目ヲ持ッテ居ルコトアルコトハ當然デアリマスルガ、幾分違ツタ意味合ノ方策ヲ採ッテ戴キタイト云フノガ

私共ノ希望デアリマスルガ、ソレニ付キマ

シテ、大藏大臣ガサウ云フコトニシタイト

云フ考ヲ有ヅテ居ラレマスルカラ、甚ダ満足ヲ致シマス次第デゴザイマス、大體私ノ質問ハ是ダケニシマシテ、細カイコトハ朝鮮

總督ナリ、其他ノ方々ニ御願シタイト思

ビマス

ハリ滿洲ニ付テハ、我國トシテハ關稅ノ下ニ於テハ外國デアル、併ナガラ經濟關係ニ於テハ特別ノ取極メヲ要スルト云フ間柄ニアルト、必ズ其取扱ハ別ニシナケレバナラヌ、ヤハナク、總テノモノデアリマスルカラ、ヤ

○野中委員 大藏大臣ノ御説明ヲ聽キマシテ満足致シマシタ、ドウカ滿洲ノ獨立ノ爲ニ承認ヲ致シマシタル今日ニ於キマシテニ、是ハ特別ノ取極メヲ要スルト云フコトニナッタノス、ヤハリ關稅ノ問題デアリマスカラ、此機會ニ一二御尋ヲシテ見タイ、政府ハ昨年ノ臨時議會ニ關稅定率法中改正法律案ヲ出

シテ、其際主トシテ内地ノ澱粉業ヲ保護獎勵スル意味ニ於テ、輸入ノ高粱、玉蜀黍共ノ希望シナケレバナラヌ問題デゴザイハ、滿洲國ノ益、發展スルト云フコトハ、私マス、併シ其發展ヲスル方法ト致シマシテハ、滿洲國自體ノ狀況モアリマセウガ、日本ガニ對スル所ノ援助ナリ、或ハサウ云フ風ナ意味合ノ補助ナリデ助ケ得ルニ非ラズンバ、新興滿洲國ノ經濟的獨立ト云フコ

ト云フコトニ付キマシテハ、其必要上關稅ノ障壁ヲ高クスルト云フコトモ結構デアリ

ト云フコトヲ、當業者ヨリ大藏省ニ對シテ

盛ニ陳情嘆願シテ居ルヤウデアリマスル

シ、又私共モ大藏當局ニ其事情ヲ御話申上

ゲタコトモアリマスルガ、其後大藏當局

ハ之ニ對シテドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレ

ルカ、此場合承ッテ置キタイト思ヒマス

○中島政府委員 丹下サンノ只今ノ御尋
ハ、昨年御承知ノ通リ高梁ガ無税カラ一圓
ト云フ税金ニナリマスシ、玉蜀黍ハ三十錢
カラ一圓七十錢ト云フ急激ナ引上ヲ見タノ
デアリマス、其當時委員會ニ於キマシテ、
ドナタカ御質問モアリマシタガ、無税ガ一
圓ニナリマスシ、三十錢ガ一圓七十錢ニモ
ナリマシタ其理由ハ、澱粉業ナリ、或ハ其
地ノ保護ノ爲メ已ムヲ得ズ、一方ニ飼料デ
アルコトハ知リナガラ、サウ云フコトニナッ
タノデアリマスガ、只今御話ノヤウニ養雞
業者トシテハ非常ニ迷惑ナ話デアリマスカ
ラ、何等カ緩和策ヲ講ジテ貰ヒタイト云フ
コトハ、法案提案以前カラ申出ガアッタノ
デアリマス、昨年ノ委員會ニ於テモ私御答
辯申上ガタト思ヒマスガ、實ハ昨年ノ高梁
ト、玉蜀黍ノ關稅引上ト云フコトハ、一方
カラ申シマスト、非常ニ無理ナ註文デアル、
只今申シマスヤウニ、高梁ニシテモ、玉蜀
黍ニシテモ、日本ノ重要ナル産業ノ一デア
ル養雞業ノ爲ニハナクテハナラヌモノデ
アル、然ルニ又一方ニハ他ノ方面カラ是ハ
ドウシテモ引上ゲテ呉レ、養雞業ノ方ハヤ
ハリ飼料トシテ取扱ヘ、他ノ方カラハ之ニ
對シテ保護稅ヲ設ケロト、殆ド之ニ對シテ

ハ不可能ニ近イツノ主張ガアッタノデアリマス、併ナガラ此兩者ヲ調和シテ何等力致シタノデアリマス、其結果農林省トモ色御相談致シマシテ、只今丹下サンノ御尋ノヤウニ「カーボン・ブラック」ト云フモノヲ塗付致シマシテ、即チ高粱ヲ高粱トシテ、ナク、又玉蜀黍ヲ玉蜀黍其物トシテ、ナク、一種ノ違タモノヲ保稅工場ナリデ製造致シマシテ、ソレヲ用ユルト云フコトニ致シタノデアリマス、是ハ併シ謂ハゞ一種ノ窮策デアリマス、而シテ是ガ完全ナルニ何ト申シマスカ、變質ノ方法トハ認メテ居リマセヌガ、畜產局ニ於キマシテモ、之ヲ第一次ノ試ミトシテ、將來ハ種々研究ヲ致シテ、サウシテ變質スルト云フ一ツノ方法ヲ考慮スルト云フ諒解ノ下ニ、實ハ今申上ゲタヤウニ已ムヲ得ズ始メタ方法デアルノデス、デアリマスルカラ、是ハ一般ニ許シマスト云フコトハ、ドウモ取締ノ關係カラ行キマシテモ無稅ガ一圓ニナリマスルシ、三十錢ノ物ガ一圓七十錢ニナルノデスカラ、相當取締ノ方面モ考慮ヲ要スル必要ガアルノデアリマス、丹下サンモ御承知ノヤウニ或特殊ノ全購聯ト申シマスカ、特殊

ノ人ニ對シテノミ許スト云フコトニ取計タノデアリマス、併シ此「カーボン・プラク」塗付方法ハ決シテ理想的ノ方法トハ見テ居ナイノデアリマス、今日以後ニ於キマシテモ相當是ハ研究致シマシテ、出來マスナラバモウ少シ進歩シタヤリ方ニシタイト思^ツテ居リマス、折角其點ハ研究中デアリマス

一體「カーボン・ブラック」ト云フモノハ百斤ニ付テ約二十錢ノ費用ヲ要スル、養雞家ナルカラ、現在農村救濟ガ非常ニヤカマシク叫バレテ、昨年ノ臨時議會ニ於テモ農村救濟ノ仕事ヲヤツテ居ル、此農村救濟ニ對シテ、僅ナ費用デアルケレドモ、是ハ重大ナ影響ヲ受ケテ居ル、折角數千萬圓ノ輸入ノアツタモノヲ養雞業ノ發達ニ依ツテ防遏シ、今聽クト約一億圓カラノ養雞收入ヲ持ツテ居ルト云フ重要ナ立場ニ在ル養雞業者ニ對シテ、左様ナ下ラヌコトヲシナクテモ、何等カ適當ナ方法ガ取締ノ上ニ於テ出來ルデハナイカ、一體農林當局ハ此「カーボン・ブラック」ト云フ仕事ヲ何ト見テ居ルカト云フコトヲ不思議ニ思ウテ居ル、此「カーボン・ブラック」ノ作業ヲ、一體大藏當局或ハ農林當局ガ實地ニ見テ居ルカドウカ、私共ハ斯ウ云フコトヲ言フ以上ハ、實際ニ就テ調べテ居リマスガ、全ク此「カーボン・ブラック」ノ作業ト云フモノ程、非文明的ナ、非衛生的ナ仕事ハナイ、之ニ從事シテ居ル勞働者ト云フモノハ、黒煙朦々トシタ中デ終日眞黑ニナツテ働くイテ居ル、其事ガ既ニ私ハ非文明ダト思ヒマスガ、サウ云フ仕事ヲサセナ

ケレバ、之ヲ認メルコトガ出來ナイ、モウ少シ何トカ——一體机ノ上ノ理論ヤ議論ノ爲ニサウ云フ下ラヌ事ヲヤラシテ置カヌデモ、相當ニ取締ノ途ガアッテ、他ニ轉用ヲ防グト云フコトガ出來サヘスレバ問題ハナイト私共ハ思ヒマス其「カーボン・ブラック」ノ飼料ヲ與ヘタ影響ト云フモノヲ、農林當局ハ一體ドンナ調査ヲシテ、現在ソレデ差支ナイト思ッテ居ラル、カドウカト云フコトヲ、一應農林當局ノ御答ヲ先ヅ承ツテ見タイト思ヒマス

○中島政府委員 只今ノ御尋ハ、農林當局カラ何レ御答辯ガアルデアラウト思ヒマスガ、私カラ一言丹下サンノ御話ニ對シテ御答申上ゲタイト思ヒマス、「カーボン・ブラック」ヲ塗付スルノハ下ラヌ方法ダト仰セニナリマシタガ、或ハ下ラヌ方法カモ分リマセヌ、先刻申シマシタ通り、實ハ非常ニ無理ナ註文ナンデス、今マデ無税デアッタモノヲ、而モ高粱ノ如キハ僅ニ二三年前ニ無税ニナッタ、其無税ニナッタモノヲ昨年御承知ノ通リ一圓ニ引上ガタ、其無税ニシマシタ理由モ、丹下サン十分御承知ノヤウニ、飼料ト云フ見地カラ、昭和五年デアリマシタカ僅ニ二年バカリ前ニ、特ニ飼料ト云フ見地カラ無税ニシタモノヲ、ソレヲ昨年ハ

一圓ニ引上ゲラレタノデアリマス、又玉蜀黍ノ如キハ、三十錢デアリマシタモノヲ一圓七十錢ニ引上ゲラレタノデアリマス、其料用デナイカラ一圓若クハ一圓七十錢ニスル、斯ウ云フコトハ稅關デ分リヤウガナイノデアリマス、稅關ハ通關致シマス時ノ原料デ見ルヨリ外ナインデアリマス、頭ノ中デ用途ヲ最初カラ考ヘマシテ、同ジ玉蜀黍ニ對シテ、又同ジ高粱ニ對シテ、此方ハ無税ニシロ、此方ハ一圓ニシロ、斯ウ云フ希望ハ殆ド不可能ニ近イ希望ダト思フ、併ナガラ此希望ヲ出來ルダケ緩和シテ、出來ルダケ實現スル爲ニ已ムヲ得ズ、是ニ保稅工場ト云フ制度ガアリマスカラ、保稅工場ヲ利用致シマシテ、飼料ニ使フモノハ之ヲ飼料的ノモノニ變形シマシテ——變形ト申シマスヨリモ變質致シマシテ、サウシテ茲ニサウ云フ飼料ノ養雞業者ノ立場ヲ見テ行ク、斯ウ云フコトニ至ルノデアリマシテ、昨年モ私ハ委員會デ御答辯申上ゲテ居ルノデアリマス、私共ノ智慧トシテハ、是レ以上良好途ノモノデアルカト云フコトノ判斷見極メガ付カナイト云フヤウニ承ツタノデアリマス、私共ノ智慧トシテハ、是レ以上良知ノ通リ一圓ニ引上ガタ、其無税ニシマシタ理由モ、丹下サン十分御承知ノヤウニ、飼料ト云フ見地カラ、昭和五年デアリマシタカ僅ニ二年バカリ前ニ、特ニ飼料ト云フ見地カラ無税ニシタモノヲ、ソレヲ昨年ハ

カト云フコトガ問題デアリマス、ソレデ先見地ニ立チマシテ、之ヲ飼料ノ用ニ供スルカラ無税ノ扱若クハ三十錢ニスル、是ハ飼料用デナイカラ一圓若クハ一圓七十錢ニスル、斯ウ云フコトハ稅關デ分リヤウガナイノデアリマス、稅關ハ通關致シマス時ノ原料デ見ルヨリ外ナインデアリマス、頭ノ中デ用途ヲ最初カラ考ヘマシテ、同ジ玉蜀黍ニ對シテ、又同ジ高粱ニ對シテ、此方ハ無税ニシロ、此方ハ一圓ニシロ、斯ウ云フ希望ハ殆ド不可能ニ近イ希望ダト思フ、併ナガラ此希望ヲ出來ルダケ緩和シテ、出來ルダケ實現スル爲ニ已ムヲ得ズ、是ニ保稅工場ト云フ制度ガアリマスカラ、保稅工場ヲ利用致シマシテ、飼料ニ使フモノハ之ヲ飼料的ノモノニ變形シマシテ——變形ト申シマスヨリモ變質致シマシテ、サウシテ茲ニサウ云フ立場ニアルノデアリマス、其點ハサウ云フ立場ニアルノデアリマス、其點ハ丹下サン能ク御承知ノコトダト思ヒマス、寧ロ丹下サンノ御話ハ其方デナクテ、一般タ位デアリマス、「カーボン・ブラック」ハ、飼料ノ御話デハナイカト私ハ期待シテ居タタ位デアリマス、「カーボン・ブラック」ハ、今日ノ所ドウモ是レ以上ノ良い方法ハ見付ケ出シ得ラレナイノデアリマス

○丹下委員 其養雞飼料デアルカ、外ノ用マスヨリモ變質致シマシテ、サウシテ茲ニサウ云フ飼料ノ養雞業者ノ立場ヲ見テ行ク、斯ウ云フコトニ至ルノデアリマシテ、昨年モ私ハ委員會デ御答辯申上ゲテ居ルノデアリマス、私共ノ智慧トシテハ、是レ以上良知ノ通リ一圓ニ引上ガタ、其無税ニシマシタ理由モ、丹下サン十分御承知ノヤウニ、飼料ト云フ見地カラ、昭和五年デアリマシタカ僅ニ二年バカリ前ニ、特ニ飼料ト云フ見地カラ無税ニシタモノヲ、ソレヲ昨年ハ

マス、ソレデ結局如何ニ之ヲ變形變質スルカト云フコトガ問題デアリマス、ソレデ先見地ニ立チマシテ、之ヲ飼料ノ用ニ供スルカラ無税ノ扱若クハ三十錢ニスル、是ハ飼料用デナイカラ一圓若クハ一圓七十錢ニスル、斯ウ云フコトハ稅關デ分リヤウガナイノデアリマス、稅關ハ通關致シマス時ノ原料デ見ルヨリ外ナインデアリマス、頭ノ中デ用途ヲ最初カラ考ヘマシテ、同ジ玉蜀黍ニ對シテ、又同ジ高粱ニ對シテ、此方ハ無税ニシロ、此方ハ一圓ニシロ、斯ウ云フ希望ハ殆ド不可能ニ近イ希望ダト思フ、併ナガラ此希望ヲ出來ルダケ緩和シテ、出來ルダケ實現スル爲ニ已ムヲ得ズ、是ニ保稅工場ト云フ制度ガアリマスカラ、保稅工場ヲ利用致シマシテ、飼料ニ使フモノハ之ヲ飼料的ノモノニ變形シマシテ——變形ト申シマスヨリモ變質致シマシテ、サウシテ茲ニサウ云フ立場ニアルノデアリマス、其點ハサウ云フ立場ニアルノデアリマス、其點ハ丹下サン能ク御承知ノコトダト思ヒマス、寧ロ丹下サンノ御話ハ其方デナクテ、一般タ位デアリマス、「カーボン・ブラック」ハ、飼料ノ御話デハナイカト私ハ期待シテ居タタ位デアリマス、「カーボン・ブラック」ハ、今日ノ所ドウモ是レ以上ノ良い方法ハ見付ケ出シ得ラレナイノデアリマス

○丹下委員 其養雞飼料デアルカ、外ノ用マスヨリモ變質致シマシテ、サウシテ茲ニサウ云フ飼料ノ養雞業者ノ立場ヲ見テ行ク、斯ウ云フコトニ至ルノデアリマシテ、昨年モ私ハ委員會デ御答辯申上ゲテ居ルノデアリマス、私共ノ智慧トシテハ、是レ以上良知ノ通リ一圓ニ引上ガタ、其無税ニシマシタ理由モ、丹下サン十分御承知ノヤウニ、飼料ト云フ見地カラ、昭和五年デアリマシタカ僅ニ二年バカリ前ニ、特ニ飼料ト云フ見地カラ無税ニシタモノヲ、ソレヲ昨年ハ

マスガ、私ハ稅關ノ取扱ニ付テハ餘リ内容ハ知リマセヌケレドモ、其點ハ相當ニ澤山

人モ掛ツテ居ラレルカラ區分ハ付キ易イト思フ、ソレガドウシテモ出來ナイト云フ

カトデアルト、其組織ノ上ニ相當改善ヲ要スルモノガアリハシナイカト思フノデス、

ト云フコトデアリマシタカラ、謂ハゞ是ハ便法カモ知レマセヌガ、其程度ニ今日マデ致シテ來テ居ルノデアリマス、先刻申上げ

マスヤウニ、是ハ決シテ理想的ノ方法デハアリマセヌ、他ニヨリ良キ方法ガアレバ、

無論是ハ其方ニ改善スルコトハ言ヲ俟タナ

アリマセヌ、アリマセヌ、是ハ決シテ理想的ノ方法デハアリマセヌ、他ニヨリ良キ方法ガアレバ、

ソレニ付テ一遍畜產局長ニ來テ貰ウテ、能

ク聽イテ見タイト思フ、私共實地ニ就テ調

ベテ見マスト「カーボン・ブラック」ヲ施シタ

飼料ト、サウデナイ飼料ト一緒ニ雞ニヤルト、雞ハ白イ方ヲ食ベテシマフ、是ハ私方

實際ヤッタ試驗デアル、白イ餌ヲ食ッテ、マダ空腹ヲ感ズルト所謂「ブラック」ノ方ヲ食

ベルケレドモ、好ンデ居ハシナイ、生理的ニドウ云フ影響ガアルカ、私ハ分ラヌガ、

必ズヤ糞ガ黒クナルト云フダケデハナイト思フ、其眞々黒ナ餌料ハ、肉質ニモ影響ス

ルグラウシ、又卵殼ノ光澤ニモ影響スル、又之ヲ取扱フ途ニ於テモ、農家ハ餘程注意

ヲ致シマシテモ、ヤハリ此餌ヲ弄ッタ手デ卵

スガ、特ニ此養雞組合中央會、或ハ全購聯ニ於テ取纏メテ、其系統的ノ養雞組合ニ配付スルト云フ一定ノ飼料ニ對シテハ、如何

ヲ弄ルト卵ガ汚レル、之ヲ洗ヘバ直ぐ腐敗

スルモノダカラ、洗ハナイデ置ケバ遂ニ汚

レガ爲ニ内外ニ非常ナ損害ヲ受ケテ居ル、
私ハ是程見易イコトガ何故一體立派ナ人達
ガ居ツテ、コンナ「カーボン・ブラック」ナドト
云フヤウナ滑稽ナコトヲヤルノカ、ソンナ
コトヲヤラナイデ他ニ方法ガアリハシナイ
カ、法律上ニ於テノ手續サヘ十分ニ監督ガ
出来レバ、私ハ智慧ヲ御絞リニナル程ノモ
ノデハナイヤウニ思ヒマスガ、私ハ税關ノ
方ノ事ハ素人デアルカラ分ラナイガ、モウ
少シ養雞家、即チ農村ニ對スル親切味ヲ以
テ、此問題ヲ解決シテ戴キタイ、斯ウ思フ
ノデス、殊ニ昨年ノ十二月カラ配合ノ方ニ
於テモ變ナコトヲヤリ掛ケテ居ル、今迄二
種配合デ宜カッタモノヲ三種配合ヲシナケ
レバ取扱ハナイト云フコトニナッタ爲ニ、非
常ニ細カイ粉末ニシナケレバナラヌ、所謂
篩ノ目ガ非常ニ細カクナリ、隨て粉末トシ
テ役ニ立タヌモノガ殖エテ行ク、頗ル是ハ
農家ノ方デハ困ツテ居ルヤウデスガ、是ハヤ
ハリ元通リ二種配合デアレバ差支ナイト云
フコトニ復活スルコトハ出來マセヌカ、又
サウ云フヤウニ二種配合デナケレバイカヌ
ト云フノハ、結局他ニ轉用ノ虞ガアルト云
フコトカラ出發シテ居ルト思ヒマスガ、一
體養雞飼料トシテ配合シタ其モノヲ他ニ轉

用スルト云フコトハ、一體事實ノ上ニアッタ
カドウカ、又之ヲ取締ルコトガドウシテモ
出來ナイノデアルカドウカ、是ハ少シ農家
ノ立場ヲ考ヘテ戴キタイ、ト云フノハ此三種
配合ヲスル爲ニ篩ノ目ガ細カクナリ、一種
ノ飼料ノ爲ニ百斤ニ付テ十錢以上ノ費用ガ
餘計掛ツテ、却ツテ餘リニ細カク粉碎スル爲
ニ、飼料トシテノ價値ガ減耗スル、而モ
粉末ガ澤山出來テ、廢棄ニナルモノガ多ク
ナル、是ハ非常ニ農家ノ經濟ニ取ツテハ重大
ナ影響ヲ受ケテ居リマス、是トニツヨ、一
ツ何トカ此際解決ヲシテ、養雞家ノ爲ニ心
配ヲシテヤツテ戴キタイ、其點ニ付テ、唯才
座成リノ質疑應答デナクシテ、本當ニ農家
ノ立場ニ立ツテノ一ツ親切ナル御答辯ヲ戴
キタイト思ヒマス

障碍サヘ除ケバ、何モ怖ガル必要ハナイノ
デアリマス、十分研究致スコトニ致シマス、
第二番目ニ、從來養雞飼料トシテ二種以上
デ宜カツタモノヲ、昨年デスカ三種以上ニ改
正ヲシタ、是ハ農家トシテ非常ニ困ッテ居ル
カラ、之ヲ矢張モウ少し便利ニスル方法ハ
ナイカト云フ御話デアリマシタガ、此點ハ
昨年色々申出モアリマシタカラ、大藏省カラ
ラモ特ニ愛知縣地方へ人ヲ派遣致シマシテ、是
實際調ヲ致シマシタ結果、出來ルダケモウ
少シ緩和致シタ方ガ宜イト思ヒマシテ、是
ハ慥カ此十五日カラデシタカ、相當緩和致
シマシテ、大體二種以上デアレバ宜シイヤ
ウニ致シタ積リデアリマス、丹下サンハ御
承知ナイト思ヒマスガ、十五日カラ實行ス
ルヤウニ致シテ居リマス、其大體ノコトヲ
申上ゲマスレバ、從來三種配合ノモノハ、
主要構成分ハ慥カ六〇%位ト見テ居ツタヤ
ウニ思ヒマスガ、今度ノ扱ヒニ依リマスト、
七五%以下ト云フコトニシマシテ、其外ニ
今ノ糠デアリマストカ、或ハ麩デアリマス
トカ、ア、云フ雑穀ノ粉デス、サウ云フモ
ノニ付キマシテハ、五分以上デスカ、殊ニ
貝殻其他ノモノハ、是ハ二分以上デスカト
云フヤウナコトニ致シマシテ、ソレカラ高
粱デシタカ、玉蜀黍デシタカ、昨年引上ダ

○丹下委員 私ノ質問ハ大體ソレダケデアリマスガ、色々大藏當局ノ御答辯デ、大體ノ所ハ分リマシタ、後段ノ配合飼料ノコトニ付キマシテハ、又私ハ最近左様ニ緩和サレル方針デアルコトヲ聞カナカッタ、其點ハ満足デアリマス、唯「カーボン・ブラック」ノ方ハ、一日モ早クコンナ詰ラヌコトハ撤廃スルト云フ方針ノ下ニ、系統的ニ配給機關トシテノ中央會ナリ、或ハ全購聯ナリヲ十分指導監督シテ、間違ノナイヤウニ取扱シメテ行カレルナラバ、斯ウ云フコトハナイト私ハ思ヒマスカラ、其方面ニ、何等カノ今日ノ施設ニ於て行届カナイ點ガアレバ、ソレヲ改正シ、或ハ其連絡上ニ付テノ整頓スペキコトガアレバ整頓シテ、サウシテサウ云フ所謂非文明、非衛生ノ、而モ其效果ヲ日モ早ク實施サレルヤウニ切ニ望ンデ私ハ方針デ、成ベク急速ニ其研究ヲ試ミテ、一限定シテ居ツタコトガアルヤウデスガ、ソレハ大キサマデ限定スルト云フコトハシマセヌデ、大體三ツ割程度ノモノデアレバ宜カラウト云フコトニ、非常ニ緩和致シタ積リデアリマス、是ダケ御答致シテ置キマス

沖著ニナツテ居リ、政府カラ出サレタノハ横
賃ガ掛ル、只持ツテハ來ラレナイ、双方對照
シテ見ナケレバ分ラナイト思フ、ソレカラ是
ハ朝鮮總督府カラ出サレタ落葉松ノ大阪沖
著ノ方ハ、丸太ハ丸太デアルガ、是ハ何尺
物デアルカ、何时物デアルカ、ソレモ少シ
モ書イテナイ、是ハ一體比較シテ論ズルコ
トガ出來マセヌデスガ、甚ダ私ハ不可解ニ
感ズル、ソレカラ此關稅改正ヲ出サレマシ
タ時ニ於ケル爲替相場ト云フモノハ、三十
弗ト云フヤウナコトハ見積ツテナイト私共
考ヘル、委員會ニ掛ケタ時ニハ、亞米利
加ノ驟動ガ起ラヌ前デアルカラ、二十弗ト
カ、二十一弗見當ヲ以テ、所謂亞米利加ノ
沖著ニナル物ト、朝鮮物ノ生產費ヲ比較シ
テ勘案セラレタ稅率ヲ出シタコト、私共考
ヘマスガ、サウスレベ、二十五弗、三十弗
ト云フヤウナ議論ハ此處デハ私ハ必要ガナ
クテ、二十弗見當ノ議論ヲスベキデアルト
私ハ考ヘル、サウシマスト、五十尺、八時
ハ、十圓二十五錢ニナツテ居ツテ、朝鮮ヨリ
カ高イ、是ハドウ云フ譯デ關稅ヲ御引上ニ
ナルカ、少シモ壓迫セラレズ、却テ亞米利
加材ガ朝鮮材ニ壓迫セラレル傾向ニナツテ

居リマス、森田先輩ハ此材木ニ付テ非常ニ
能ク知ッテ居リマスガ、取引ナドシテ居ナ
イ、朝鮮カラモ來テ居ナイ、賣買モシテ居ナ
イ、大阪モ大體サウデアリマスガ、是ハ名
目ハ朝鮮開拓、北鮮開拓ト云フコトヲ盛ニ
唱ヘテ居リマスガ、大體サウ云フヤウナ關
稅ヲ引上ゲテ、朝鮮ノ開拓ガ出來ルノ、ニア
リマセウカ、朝鮮材ガ、ドン／＼引上ゲタ
ガ爲ニ内地ヘ來テ亞米利加材ヲ驅逐スルコ
トガ出來ルノデアリマセウカ、此邊モ今井
田政務總監カラモ御伺致シタイ、ソレカラ
長白山脈カラ大體出ルデアラウト考ヘマス
ガ、ソレカラ其方面カラハ淸津ガ船積港ニ
ナツテ居ル、最寄港ニナツテ居ルヤウデアリマ
スガ、ソレマデノ間ガ鐵道運賃ナドヲ見テ
居リマスガ、會寧カラ起算シテ居リマス
ガ、會寧カラ山マデノ間ハドウナツテ居リ
マスカ吾々ハ分リマセヌガ、此邊ノコトヲ
能ク御説明ヲ戴キタイト思ヒマス、ソレカ
ラ此米松ノ方ノ丸太沖著質段ダケヲ茲ニ出
サレテ居ル、ソレハ横濱沖著デアリマス
ガ、深川マデ持ツテ來ル所ノ費用ガアル、併
シ片方ハ利息ガ五%ト見積ツテアリマスガ、
米松ノ方ハ利息ヲドノ位ト見積ツテノ御計
算ナノカ、其兩方ヲ比較シテ茲ニ關稅ヲ何

○中島政府委員　只今ノ御質問ハ中々詳細ニ涉リマシテ、殊ニ關稅問題ニ通曉シテ居ラレル中島君カラ色々御質問フ承リマシテ、私トシテ答辯シ惡イヤウナ點モアリマスカラ、是等ノ方ハ技術者ノ方ガ能ク分ルト出ヒマスカラ、其方ニ委セマス、朝鮮材ノ五ハ米松ノ爲ニ壓迫サレテ居ナイデヤナインカ、別ニ市場ニ兩方ノモノガ闊ッテ居ルヤウナ實情ヲ認メナイヂヤナイカト云フ御話ノヤウニアリマス、果シテ事實ダトシマスレビ、誠ニ御尤ナコト、思ヒマスルガ、此點ハ提案ヲ致シマスノニ付キマシテハ、拓務省ナリ朝鮮總督府ノ方カラサウ云フ事實ヲ認メテノ御交渉デモアリマスルシ、私共モ確信ヲ致シマシテ實ハ提案致シタ積リデアリマスルガ、其點ニ付テノ立入ッテノ御質問デアリマスレバ、是ハ拓務當局ナリ、朝鮮總督府ノ當局カラ御答下サル方ガ適當デアラウト思ヒマス、ソレカラ主稅局提案ノ今日御手許ニ配付致シマシタ米松横濱著ニコトハ、實ハ私見ナイノ居リマシテ、此處デ實ハ拜見シタヤウナコトデ、甚ダ濟ミマセヌガ、此點ハ技師ノ方カラ御説明ヲ申

上ゲタイト思フノデス、ソレカラ最後ノ爲トカ、此提案ヲ致シタ時ハ亞米利加トノ爲替モ違ッタ狀態ニアッタンデヤナイカト云フヨハ下半期ノ輸入平均價格ヲ取リマシテヤタノデアリマシテ、何弗ト云フヤウナコトハ見ナイノデアリマス、是ハ輸入平均價格ヲ取リマシテヤタノデアリマスカラシテ、下半期ノ輸入平均價格ヲ直接爲ヤッタノデアリマス、デアリマスカラ次會ニ譲替ガ一千弗三十弗ト云フコトヲ見テヤッタノデハアリマセヌ

○金光委員長 爾餘ノ政府委員ノ御回答ハ次會ニ譲ッタ方ガ便宜デアラウト存ジマスカラ、本日ハ此程度ニ止メマシテ次會ニ譲リマス、次會ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時三十分散會

錄第十六回中削除

第六號第一號 造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)外二件委員會議錄

第十八回 昭和八年三月十日

一四

昭和八年三月十日印刷

昭和八年三月十一日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所